

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

償却原価法（定額法）によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

本注記をもって附属明細書の基本財産及び特定資産の明細に代えるものとする。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	113,973	0	0	113,973
普通預金	0	0	0	0
投資有価証券	199,886,027	0	0	199,886,027
特定資産				
法人運営基金定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
法人運営基金普通預金	67,337,125	0	30,000,000	37,337,125
法人運営基金投資有価証券	898,662,875	0	0	898,662,875
合 計	1,171,000,000	0	30,000,000	1,141,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの 充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金	113,973	113,973		0
普通預金	0			0
投資有価証券	199,886,027	199,886,027		0
特定資産				
法人運営基金定期預金	5,000,000	5,000,000		0
法人運営基金普通預金	37,337,125	37,337,125		0
法人運営基金投資有価証券	898,662,875	898,662,875		0
合 計	1,141,000,000	1,141,000,000	0	0

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄附金振替額	30,000,000
経常外収益への振替額	
合 計	30,000,000